公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所		เงอเงอ			
○ 保護者評価実施期間	令和7年		1月 6日	~	令和7年 1月 20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		26	(回答者数)	23	
○従業者評価実施期間	Ŷ.	和7年 1	1月 6日	~	令和7年 1月 20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		12	(回答者数)	12	
○事業者向け自己評価表作成日	?	和7年 2	2月 6日	·		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数が多いので活動によって部屋を 分けることができ環境に配慮しやすい	・年齢や活動によって部屋を分けている・ひとりでクールダウンできるスペースを作っている	・大きい部屋でも視覚的に子ども達に解りやすいようコー ナーを作り過ごしやすいようにしていく
2	交流事業にて地域の方や児童と たくさん関わることができている	・季節に合った行事を取り入れている ・地域の活動に参加させていただいている ・利用児童と地域児童が関わる活動(月1回)を組み、 たくさん関わることのできるプログラムを立てている ・ボランティアを積極的に受け入れている	・市の広報の活用も検討していく ・利用児童の兄弟児の参加も検討していく
3	保護者同士のつながりを大切にしている	・保護者会はどの家庭も参加しやすい曜日や時間帯に配慮している ・先輩ママの話をしてもらい情報を得る機会を設けている ・子どもたちの頑張っている姿を見てもらえる機会を設けている	・イベントごと保護者からアンケートをとり、頂いた意見、 要望をもとに次回の開催内容を検討しており、今後も引き続 き行っていく

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に様々なマニュアルの周知がされにくい	説明するものの量が多く周知されていない契約時にしか説明できていない	・保護者用に簡易的に作成する ・いつでも閲覧できるよう公表していく
2	支援に対しての職員ひとりひとりの対応力	・支援方法に対してどうしたらいいかの話し合いはするが、対 応力の差が出てしまうことがある	・どの職員も積極的に関わり様々な場面で対応する機会を増 やし対応力の向上を図る ・対応に困った際には他の職員に聞けるような環境作り、職 員間の風通しを良くする
3	職員全体へ発作やアレルギーの対応が周知ができていない	・発作やアレルギーがある児童への対応の周知が言葉だけに なってしまっている	・どの職員でも分かりやすいよう紙面で提示していく ・シュミレーションし、職員で確認していく